

石和東小学校の学校経営

1 学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

- ・深く考え行動できる子ども
- ・明るく思いやりのある子ども
- ・強くたくましい子ども

2 目指す姿（子ども・学校・教師）

（1）目指す子どもの姿

- ・基本的生活習慣を身につけた子ども
- ・自ら学び考え判断し、行動する子ども
- ・夢と希望を持ち、仲間とともにがんばる子ども
- ・健康で明るく思いやりのある子ども

（2）目指す学校の姿

- ・子どもが安心して生き生きと学ぶ学校
- ・教職員が意欲とやりがいをもって働く学校
- ・保護者、地域が信頼をよせ協力する学校

（3）目指す教師の姿

- ・教職に対する強い情熱〔使命感・自覚や誇り、愛情・責任感を持ち、向上心のある教師〕
- ・専門家としての確かな力量〔児童理解に努め、温かさと厳しさをもち、授業で勝負する教師〕
- ・総合的な人間力〔社会性・常識をもち、礼儀正しく、時間や約束を守る教師〕
〔和を大切にし、子どものモデルとなるよう努める教師〕

3 学校経営の方針

- （1）児童の実態、地域の特色、児童を取り巻く社会情勢などを考慮した、適切な教育課程の編成と実施に努める。
- （2）基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着させ、これらを活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力を育てる学習指導に努める。
- （3）ICT を効果的に活用した教育活動を進める。
- （4）自ら進んで学習に取り組み、学校内外の多様な人々と協働的に学ぶ態度を養う。
- （5）互いの良さを理解し、思いやりのある豊かな心を育てるとともに、基本的生活習慣を確立させ、規範意識や関わり合う力を持った児童の育成に努める。（東小十カ条への取組）
- （6）運動に親しみ、心身ともに健康で調和のとれた児童の育成に努める。
- （7）学校・家庭・地域社会の連携を深め魅力ある教育活動を行うとともに、安全管理体制の一層の充実と児童の安全確保に努める。

- (8) 教師の個性や専門性を発揮し、特色ある学級及び学校づくりに努める。

4 重点的取り組み

- (1) **深く考え行動できる子ども**を育成するために
- ・確かな学力の定着を図り、ICTの活用も含め、児童が主体的に学習を進められるよう「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。
 - ・校内研究を充実させ、児童の実態を把握し、児童が自ら進んで学ぶことができる指導方法・指導内容の工夫及び教育環境の整備を行う。
 - ・開放的・受容的な雰囲気の中で、伝え合い学び合う活動を取り入れ「かかわる力」を育成し、協働的な学習のできる教室づくりを行う。
 - ・読書の質の向上を図るとともに、習慣化と教科学習における図書館の活用を推進する。
 - ・学校内や地域での体験的学習を充実させることにより、学習したことを深め、活用し、より良い社会を築くための人間性の基礎を養う。
- (2) **明るく思いやりのある子ども**を育成するために
- ・一人ひとりの児童の個性を理解し、長所を認め伸ばすことにより、児童の自己肯定感を育てる。
 - ・相手の立場になって考え、判断し、行動できる児童になるよう、思いやる心の育成に努める。
 - ・集団づくりの研究を継続、改善し、集団の中でよりよい関係づくりに努めるとともに、児童が主体となっていじめをなくす取り組みができるよう計画的に指導する。
 - ・自己を深く見つめ、人としての生き方について考えを深めることができるよう、話し合い活動等を通して他者の考えに触れ、自他を認め合う道徳教育を推進する。
 - ・児童が主体となって「東小十か条」に取り組めるよう指導するとともに、家庭や地域と共有できるように、あらゆる機会を通して発信する。
- (3) **強くたくましい子ども**を育成するために
- ・基本的生活習慣を重視した子どもたちの身体づくりに努め、自己管理能力の育成を図る。
 - ・学校教育全体を通して、心身の健康及び安全に関する指導、体力向上に関する指導等を発達段階に応じて計画的に実施する。
 - ・自己および集団の課題解決に向けて、児童一人ひとりの心に寄り添いながら、最後まであきらめずに取り組むことができるように支援することで、心身の成長を促す。
 - ・「自分の命は自分で守る」ことを基本理念として、体験的な防災教育に取り組む。
- (4) 保護者や地域に信頼される学校づくりについて
- ・学校と家庭、地域及び行政など関係機関との連携を強化し、児童の課題に対する教育相談体制を構築する。迅速で、誠意のある対応に努める。
 - ・児童の頑張りや成長などを積極的に発信する。(各種たより、連絡帳、電話、面談 など)
 - ・保護者と連携し、基本的生活習慣の定着や家庭学習の習慣化を図る。(緑のファイル、まいがく、ノーメディア、1人1台端末の持ち帰り など)
 - ・SNSの正しい使い方や危険性について共有できるよう、学習会や情報発信を積極的に行う。
- (5) 働き方改革について
- ・教員が一人一人の子供と向き合う時間を確保し、質の高い教育を実現するための、働き方改革とする。
 - ・保護者や地域の方々の協力や関係機関など外部人材と連携しながら、指導が充実できる環境作りを推進していく。
 - ・教育課程や学校行事の見直しや精選、保護者向けのアンケートや連絡・配付物のデジタル化を進めることで、今まで以上に確実な情報共有と迅速性を高めたコミュニケーションに取り組んでいく。